



小平市立上宿小学校

CSだより

令和7年 1月18日

学校経営協議会だより

令和6年度 No.6



会長 羽根田 厚子

12月9日(月)、本年度の第6回学校経営協議会が開催されました。

2学期のまとめに向け張り切って学習に取り組む児童の様子や来年度の教育課程について、今後の予定などについて情報共有し、教育活動の更なる充実に向けて熟議をおこないました。



○令和7年度教育課程について○

年度末に向けて学校経営方針案を作成し、2月17日(月)の第8回学校経営協議会における令和7年度教育課程の承認を受け、3月12日(水)に教育課程説明会を実施する予定です。今年度の様々な成果や課題を踏まえ、来年度も学校教育目標のうち『かしこい子』の育成を重点目標といたします。また、基礎的・基本的な内容の確かな定着のための様々な取組について、更に広く発信していきます。さらに、目標達成に取り組むための教員像を、『魅力ある授業を実践しようとする教員』とし、効果的な個別最適な学びの実践に取り組みます。今年度は、特に各行事等で「目的意識」を明確にして様々な取組を実践することでそれぞれの「ねらい」を達成してきました。来年度も同様の姿勢を継続していきます。CSとして、開かれた学校づくりにも引き続き取り組みます。

○熟議の主な内容○

広げよう。学びの輪。

- ・来年度に向けて、児童と一緒に計算に取り組むなど「シルバー大学」の方々との交流を増やしていきたい。
- ・朝の時間の補習的学習活動の成果が一定程度確認できたことから、低学年での実践の可能性を探っていききたいが、人材の確保が課題である。
- ・地域の学生などとの連携について、コロナ禍前は都立小平西高校の生徒にラグビーやハンドボールなどを教えてもらいながら活動する取組もあった。
- ・雨の日で休み時間に校庭で過ごせない時などに「お話の森」を4・5年生が担当することにより、下学年との新たな交流が生まれるのではないかな。

育てよう。心の芽。

- ・学校生活の中で必要となる特別な支援について、多様性を尊重し認め合うというインクルーシブ教育の観点を大切に、「褒めて伸ばす」ことを重視していきたい。
- ・ゲームやインターネット、タブレットを使用することも増え書く力の低下が懸念されるところであるが、鉛筆やお箸の持ち方など、手先の器用さも大事なのではないかな。
- ・童話や昔話に触れるのも、心が豊かになるので効果的。
- ・あいさつ運動について、学区域内でのポスター掲示なども検討しているが、掲示場所の減少などもあり、なおのこと学校との連携を図るのが難しくなっている状況があるかもしれない。

みんなで協力。助け合おう。

- ・1月18日(土)の防災体験活動は、東京都教育委員会『笑顔と学びの体験プロジェクト』による活動です。なかなか体験することができない、貴重な活動機会となります。防災意識も高まる昨今、積極的に参加したい。当日は体育館を中心に6つの体験ブースに分かれて学年ごとに活動します。
- ・お手伝いいただく皆さんには、動画視聴により事前準備をしていただく予定です。

